

税関行政

関税局業務課
上席調査官

横越 有由

YOKOGOSHI Ayu

平成26年度入省 法律



経済発展を支える知的財産保護と税関の役割

知的財産を守る、税関の取組

現在、関税局業務課知的財産調査室に所属し、知的財産の権利保護を目的とした税関における水際取締りに関する制度の企画・立案に携わっています。

知的財産は形のない財産であるため、日常生活の中では意識されにくい存在です。しかし、新たな技術やブランド、デザインが創出され、それらが適切に保護されることで、経済は発展してきました。こうした価値を保護する仕組みがなければ、創造することへの意欲は損なわれてしまいます。また、知的財産を侵害する物品は、消費者の健康や安全の観点からも大きな懸念があります。関税局・税関では、関税法に基づき、こうした知的財産侵害物品が国境を越えて流入しないよう、水際での取締りを継続してきました。

近年では、越境電子商取引(越境EC)の拡大に伴い、模倣品が国内に流入するケースが増加しています。これを受け、関税局・税関では特許庁と連携し、令和4年に関税法を改正しました。その結果、商標権・意匠権を侵害する模倣品については、個人使用目的であっても、海外事業者から郵送などにより国内に持ち込まれる場合には、税関による水際取締りの対象となっています。こうした制度整備等を通じて、健全な経済活動を

支えるとともに、消費者が安心して商品を選択できる環境の整備にも貢献しています。

多様なキャリアパス

関税局・税関の業務は多岐にわたり、私が現在携わっている知的財産保護の取組のような全国の税関における行政の執行に関する制度や関税政策の企画・立案に関する業務をはじめ、経済連携協定など国際的なルール整備の推進に資する業務等にも携わることができます。また、海外の大学への留学や研究員派遣等、多様な議論を通じて知識や価値観を拡張する貴重な機会もあります。

関税政策・税関行政という専門分野を持ち、多様な職務経験を得て柔軟性を養いながら、国際貿易の発展に貢献するために必要な知識・スキルを学び成長し続けることができる魅力的な職場だと考えています。



MY PRIVATE TIME

休日には趣味として茶道教室に通っています。以前、米国に留学した際に、日本文化について話す機会を通じて、自分がこれまで十分に日本文化に触れてこなかったことに気づき、帰国後に習い始めました。仕事から離れて新しいことに取り組む時間は新鮮で、お茶室ではお茶のことだけに集中できるため、思考や気持ちをリセットする大切な時間になっています。



税関行政

関税局調査課
課長補佐

前田 憲司

MAEDA Kenji

平成18年度入省 経済

モノを見るために、何をするか？

調査課のお仕事

“税関”と聞くと、どのようなイメージをお持ちになるでしょうか？最近ではテレビ番組で取り上げられることも多いため、「空港でカバン開けている人！」というイメージを持っている方が多いかもしれません(中には実際に検査された方もいらっしゃるでしょうか)。

イメージのとおり、税関は国境の最前線でモノを見る仕事をしています。といっても、モノを見て不正薬物をはじめとする安全を脅かすモノが入ってこないようにすることは当然ですが、最近ではモノが出る際の確認も重要になっています。また、モノが入ってくる際に税を徴収するという徴税機関の役割もあります(国税収入の約17%は税関が徴収しています!)、円滑な貿易の促進という役割もあるため、空港でカバンを開けているだけではなく、実は非常に多様な仕事を担っています。

国境では膨大なモノが日々流れており、輸入許可の件数は2億件に迫る勢いとなっています。こうした膨大なモノをどのように見ればよいでしょうか？当然、モノ自体には意思はありません。となると、国境を動いているモノの背景を分析していく必要があります。私が所属している調査課はこうしたモノの移動に伴う種々の情報を収集・分析するというインテリジェンス部隊の役割を担っています。

一例を挙げると、最近ではモノの移動に伴うカネの流れにも着目していく

必要もあり、マネーロンダリング対策で税関が果たす役割も非常に重要になっているなど、様々な政策課題に気づき、そして対応していくためには、我々も先端技術の活用をはじめとして環境に応じた変化が求められています。

多様な経験をつなぐ

とこれまで読んでいただいた方からすると、インテリジェンスのプロという印象を持った方もおられるかもしれませんが、私も昨夏に着任したばかりであり、勉強の毎日です。が、不安には及びません。関税局・税関では、それぞれの知見を活かし、知恵を出し合う文化があるので、ご安心ください。

私も振り返ると、関税局・税関以外では、官邸での危機管理対応や主計局での主査の経験(防衛省の予算査定を行っていました)、あるいは前職での内閣府(経済安全保障部局)での勤務など様々な仕事に携わってきましたが、何か政策を企画する場合には必ず予算は伴いますし、関税局・税関が経済安全保障上果たす役割も広がっており、実は様々な政策分野が関税行政にもつながっています。こうした多様な経験を積んだうえで、関税行政に生かしていく、また企画立案のみならず、執行現場での業務経験も積むことが出来ることも税関総合職の魅力だと感じています。

MY PRIVATE TIME

休日はひたすら娘(6歳)と一緒に過ごしています。娘が大好きなおままごとでは私が1人9役を担っており、スキルの向上を実感している毎日です(笑)。また、私が所属している総括係では「少なくとも月1日は有給取得しよう」と呼び掛けしており、私も平日の休みは家族で旅行に行き、空いている観光名所を満喫し、リフレッシュするようにしています。

